

資料 1. 村上総合病院移転後の跡地の活用について

◎村上総合病院移転後の跡地活用の方向性 ～これまでの検討結果から～

1. 複数の機能を持たせ多目的に活用

- 都市機能増進施設として、メインとなる施設イメージは「子ども・子育ての総合支援施設」。
 - ・交通アクセスの利便性を活かした子育て支援の新たなサービスを提供する場
 - ・保育と子育てのネットワークの拠点として子育て世代をサポートする場
 - ・ここに来れば、いつでも、誰でも、憩い・集い・語らうことができる空間
- 導入する機能のメインは「児童福祉」。(メインターゲットは子育て世代。)
 - ・就学前児童の保育
 - ・子育て支援の拠点
 - ・病児等の受け入れ
 - ・放課後の児童受け入れ
- メインの機能を補完する機能等の導入。
 - ・「高齢者福祉」：高齢者の健康増進、社会参加を促すための活動拠点
 - ・「文化・交流」：遊び場、たまり場
 - ・「その他(行政サービス)」：行政サービスの窓口機能
 - ・更なる魅力を創出する機能や取り組み：イベント・催し、多目的スペース、飲食する場

2. 病院移転後の跡地と旧ジャスコ跡地を一体として活用

- 駅前である立地特性を活かして、多くの人が集い、交流する場所。
- 市内の他の地区からも来たくくなるような施設。
- 外出の目的地になるような場所。

3. 周辺の既存施設(機能)を考慮した活用

- 既存の周辺施設機能と違う視点を持った交流の場。
- 誰もが自由に憩い、集い、語らう「たまり場」的な交流スペース。
- 青少年の居場所となりうる開放的な空間。

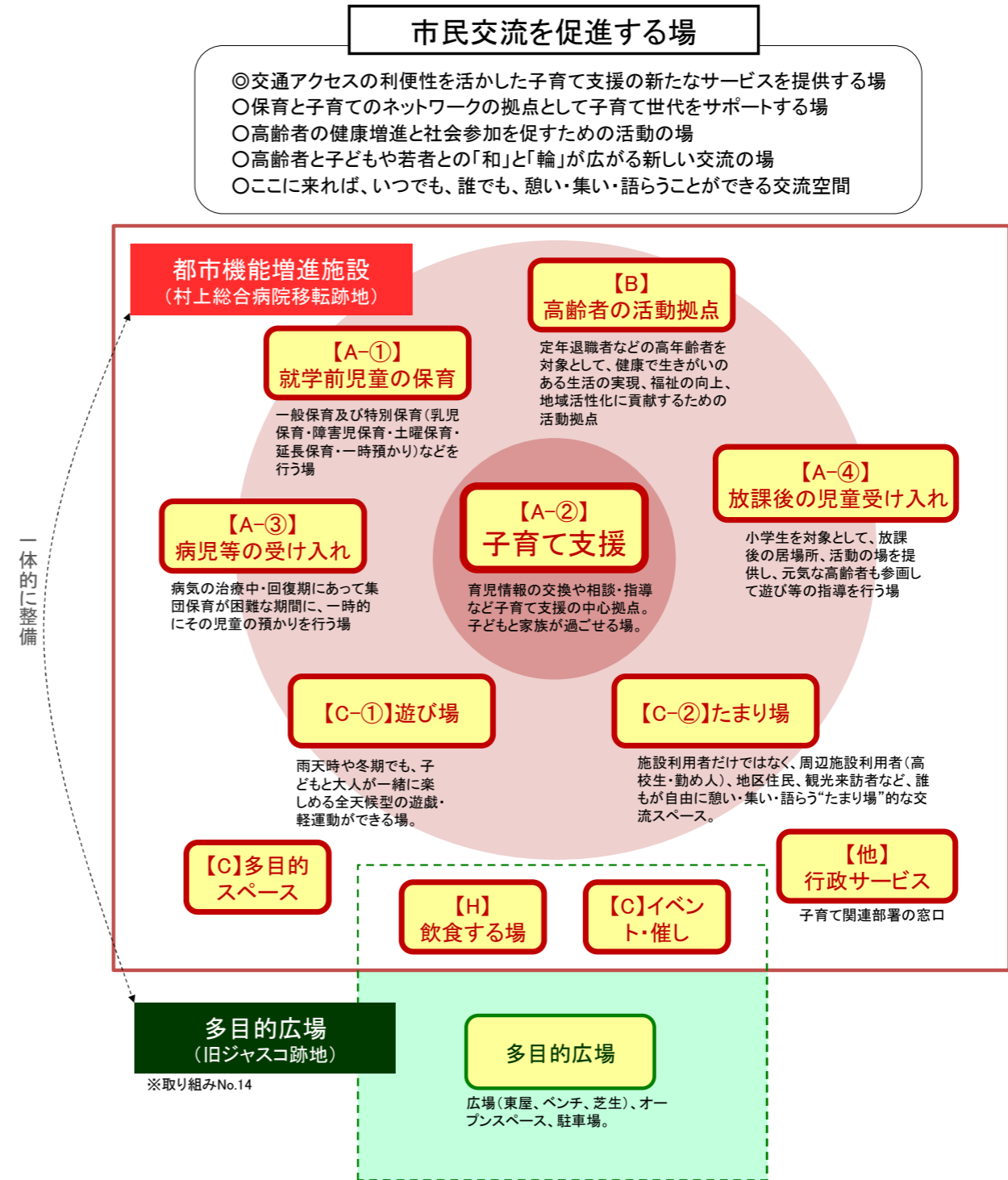


図. 機能構成イメージ (第6回策定委員会資料及び協議内容をもとに作成)